

会 議 開 催 結 果

1 会 議 の 名 称	令和7年度砥部町男女共同参画推進審議会
2 開 催 日 時	令和7年8月20日（水）13:30～14:30
3 開 催 場 所	砥部町役場 2階 大会議室
4 審 議 等 事 項	(1) 第2次砥部町男女共同参画計画について (2) 令和6年度各課の取り組みについて (3) 今年度の各課の取り組みについて (4) 意識調査（中間アンケート）の実施について
5 出 席 者 名	【出席委員】 仲田和由、大西康英、影浦礼一、土居慶子、大西三千枝、 武智咲紀、石丸世志、竹下浩子 【事務局】 小中学（企画財政課長）、菊池安修（同課課長補佐）、 岩佐千恵（同課係長）、坪内千尋（同課主事）
6 公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開
7 非 公 開 の 理 由	—
8 傍 聴 人 数	0人
9 所 管 課	企画財政課 企画政策係 電話 089-909-4670

発言者	発言内容
事務局	・開会あいさつ ・自己紹介 ・配布資料確認 ・会議の公開・非公開について 公開とする。 ・会長、副会長の選出 委員の互選により、会長 仲田和由委員、副会長 大西三千枝委員に決定 協議事項 (1) 第2次砥部町男女共同参画計画について ・事務局説明 協議事項 (2) 令和6年度各課の取り組みについて ・事務局説明
委員	DVに関する相談数について、実際にDVを受けてる方は行政へ相談になかなか行かないのではないか。町内で実際にどのぐらいの数値でどうするようない人がいるのかっていうのはもう少し把握した方がいいのではないか。
委員	DVは身体的暴力だけでなく、言葉の暴力、無視、経済的暴力なども含まれる。国の調査では「男性は5人に1人、女性は4人に1人がパートナーから暴力を受けたことがある」とされているが、行政や警察、DVセンターに相談できる人は少ない。ほとんどの人が『私なんか』と思って結局は相談せずになってしまう。それにあえて相談できる窓口があるとか、あなたが今思ってる辛いことはDVだよと周りの人が気付いてあげるとい、そういう仕組みの方が大切。身近な場所での相談と、住んでいる場所から離れた場所での相談の両方の選択肢があることが良い。

事務局	協議事項 (3) 今年度の各課の取り組みについて ・事務局説明
委員	子宮頸がんや乳がん検診の受診率目標を下げたことについて、職域検診の受診率を取り込むことができないからという説明があったが、つい2、3週間前ぐらいの新聞記事で、職域での検診の受診率を市町でも把握できるようにするという記事があった。実態で下げるのではなく、職域検診の数値を読み込んだ上での確な数字を入れるぐらいの感覚が必要。数値目標なので、目標を下げるのであれば、適切にデータを取り込んでからその数値を考えた方がいいのではないか。
事務局	担当課に伝え、再度目標値を設定しなおす。
委員	防災計画に男女共同参画の視点を取り入れることについて、具体的に今どんなことを考えられているのか。
事務局	国や県の計画を参考にし、計画策定委員には女性委員を登用して女性目線の意見も取り入れる予定。
事務局	協議事項 (4) 意識調査（中間アンケート）の実施について ・事務局説明
委員	他の町の審議会メンバーから聞いた情報で、新しい法律（困難な問題を抱える女性への支援に関する法律）に関連する質問項目を追加している例がある。新しい法律に関する内容を追加してはどうか。
事務局	内容を踏まえて追加項目の検討をする。
委員	アンケートが紙だけでなく、スマートフォンなどで回答できるようになれば回答率が増えるのではないか。
事務局	WEB 回答もできるようにする予定。
委員	説明でアンケートの目的が分かったものの、アンケート用紙だけを見た場合、DV のことがすごくアピールされているような感じを受ける。
事務局	アンケートの目的を記載した案内文を同封する。

事務局	そのほか、ご意見はないか。 無いようであれば、以上で議事を終了とする。 ・ 事務連絡 ・ 閉会宣言
-----	--